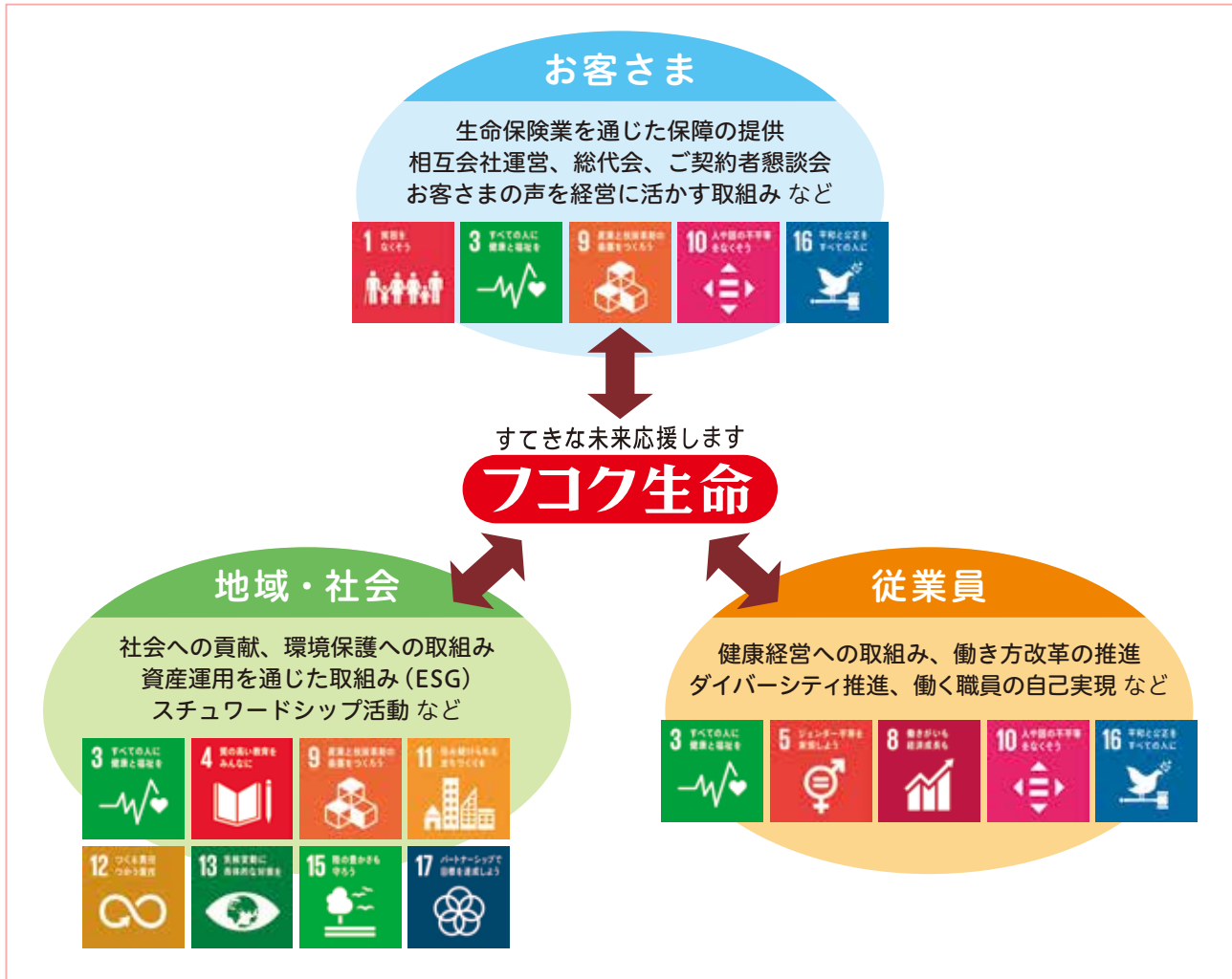


持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

生命保険とは、お客さまの一生涯にわたる、さらには世代を超える約束であり、終わりのない仕事です。未来永劫お客さまとの約束を守るためには、会社が持続的に成長し存続していかなければなりません。そのためには、持続可能な社会が必要であり、こうした社会をつくっていくための企業活動は当然のことと考え、事業を遂行してまいりました。このような企業活動の一つひとつが、持続可能な社会への貢献につながっていくと考えております。



公共性の高い生命保険業を営む当社は、事業の健全な運営こそが「企業の社会的責任」を果たすことであるとと考えております。「お客さま基点」という価値観のもと、お客さま、従業員、地域・社会とともに共通の価値を創り出せるよう、お客さま本位の業務運営を遂行してまいります。

「THE MUTUAL」次代の“相互扶助”を考える

当社は創業以来、相互会社形態を貫く唯一の会社です。創業100周年に向けて、脈々と受け継いできた“相互扶助”の過去や現在を踏まえ、次代の“相互扶助”「THE MUTUAL」を体現すべく、100周年プロジェクト^{※1}に取り組んでおります。こうした取組みは、SDGs（持続可能な開発目標）^{※2}のゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」そのものであり、引き続きステークホルダーとのつながりを深め、持続可能な社会に向けて貢献してまいります。

※1 100周年プロジェクトについては9、10ページをご参照ください。
 ※2 SDGsに関する当社の取組みについては44ページをご参照ください。

● 責任投資原則（PRI）活動について

責任投資原則（PRI）の署名

当社は、国連の責任投資原則（PRI）の趣旨に賛同し、2016年3月21日に署名機関となりました。当該原則に則った投融資を行うことは、お客さまからお預かりしている大切な資金の収益性向上に資すると同時に、機関投資家としての責務をより一層果たしうるものと考えております。

Signatory of:



ESG 投融資に対する基本的な考え方

当社は、お客さまの利益を最優先とした資産運用を実践するとともに、生命保険業の公共性を踏まえ、資産運用を通じ社会的責任を果たしていくことに努めております。2016年3月には、責任投資原則（PRI）に署名し、受託者責任に反しない範囲において、投資の意思決定プロセスにESG[※]課題を組み込んでいるほか、スチュワードシップ活動においても、ESG課題をテーマの一つとし、投資先企業との対話などに注力しております。2020年6月には、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言へ賛同しました。今後も、気候変動を含む社会の持続可能性に影響を及ぼす様々な課題に対する問題意識を持ってESG投融資やスチュワードシップ活動の取組みを推進し、収益性の確保という受託者責任を果たしつつ、持続可能な社会の実現への貢献を目指してまいります。

※ E（環境、Environment）、S（社会、Social）、G（企業統治、Governance）

ESG 投融資の主な取組事例

環境問題を含む社会的課題の解決につながるテーマを持った資産等への投融資に取り組んでおります。

● 子どもの教育支援への取組み

2020年9月に世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資を実施しました。債券投資を通じて、コロナ禍における教育支援の重要性を発行者と投資家が共に提起する世界初の案件です。調達された資金は、トルコにおける新型コロナウイルス感染症拡大に対する教育分野の迅速な対応をサポートすることなどに充てられます[※]。

※世界銀行がサステナブル・ディベロップメント・ボンド発行により調達した資金は、前記を含む世界銀行のプロジェクトへの融資全体を支えています。



© World Bank

● 気候変動問題への取組み

2021年2月に米州開発銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資を実施しました。調達された資金は、ホンジュラスにおける適切な森林管理やアグロフォレストリー（樹木を植栽し、樹間で家畜・農作物を飼育・栽培する農林業）の導入などに充てられます。



© IDB

● プライベートエクイティ投資を通じた社会、環境へのインパクト投資

2020年12月にプライベート・エクイティ・インパクトファンドへの投資を実施しました。当ファンドでは、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）が目指す社会の実現に向けて、持続可能な成長と雇用の促進、ヘルスケアの改善、男女平等への貢献、気候変動とエネルギー需要への対応、環境保護などに貢献する未公開企業を投資対象とし、経済的リターンと社会的リターンの両立を目指しています。

●リサーチへの組み込み

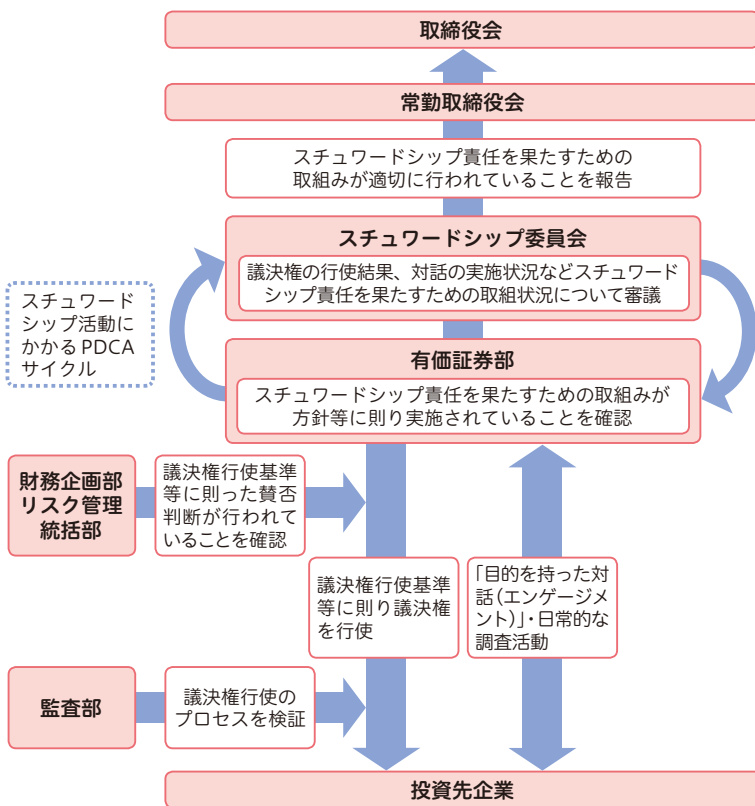
国内株式について、銘柄選定の際、PRI 署名機関で ESG 評価にかかる豊富なノウハウを有する子会社の富国生命投資顧問より提供される ESG スコアに基づくスクリーニングを実施しているほか、スチュワードシップ活動において把握した ESG 情報も投資判断の要素に含めております。また、一部の債券について ESG 情報に基づくスクリーニングを実施しております。

●スチュワードシップ活動

当社は、「責任ある機関投資家」の諸原則≪日本版スチュワードシップ・コード≫を受け入れ、「スチュワードシップ責任を果たすための方針」「スチュワードシップ責任を果たすに当たり管理すべき利益相反についての方針」「議決権行使についての方針」を制定し、主要投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）に注力しております。スチュワードシップ委員会では、議決権の行使結果や対話の実施状況などスチュワードシップ責任を果たすための取組状況を審議し、その内容は取締役会に報告しております。社外委員を委員長とするスチュワードシップ委員会での審議内容を踏まえつつ PDCA サイクルを継続的に実践し、スチュワードシップ活動の透明性および実効性の向上を図っております。

引き続き、投資先企業とのエンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動を通じ投資先企業の持続的成長を促し、お客さまからお預かりした大切な資金の中長期的なリターンの拡大に資するよう努めてまいります。なお、スチュワードシップ活動の詳細については、当社のホームページで公表しております。

【スチュワードシップ活動体制イメージ図（一般勘定）】



【スチュワードシップ委員会の概要】

構成
【社外委員】 2名 (委員長は社外委員の中から選定) 【社内委員】 5名 コンプライアンス統括部長 (利益相反管理統括者) リスク管理統括部長 総合企画室長 有価証券部長 財務企画部長
審議事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議決権行使のうち重要議案の賛否判断に関する事項 ・ 投資先企業との対話の実施状況 ・ スチュワードシップ活動における利益相反防止態勢に関する事項 ・ スチュワードシップ活動に関する社内規程等の改正案に関する事項 ・ その他、スチュワードシップ活動に関する事項
開催
原則年 4 回

環境へ配慮した活動を推進しております。

温暖化対策をはじめとする環境保護への取り組みは、わたしたちが健康で豊かな生活を営む上で重要なものとなっております。当社では、職員一人ひとりがしっかりと環境への意識を持ち、行動していくことが大切であると考えております。

「フコク生命(いのち)の森」プロジェクト ～「宇佐美倶楽部」の活動～

2006年度より、環境保護活動に参加・体験することのできる場として、「竹害※対策」を主とした「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトを行っております。

「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトは、当社が静岡県伊東市宇佐美に保有する山林を保全するため、竹林伐採を当社役職員の手によって行う活動です。森の再生だけでなく、間伐により竹林自体も健全な状態に戻していくことを目標とし、社内の有志により組織された「宇佐美倶楽部」が中心となって進めています。(2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動休止)



※放置された孟宗竹が森林を侵食。根の浅い竹林が、地すべりや表土の流失の原因ともなり、山林の荒廃や土砂崩れなどの災害を引き起こします。

フコク・クリーン倶楽部(FCC)活動

2006年度より、千葉ニュータウン本社勤務者有志の団体「フコク・クリーン倶楽部(FCC)」による、最寄駅「北総鉄道千葉ニュータウン中央駅」の駅前清掃活動を実施しております。



環境配慮型の不動産開発

2010年にオープンした大阪富国生命ビルは、大阪市建築物総合環境評価制度において、「第5回顕彰建築物CASBEE大阪 OF THE YEAR 2010」の表彰を受けております。

また、2017年にオープンした札幌フコク生命越山ビルは、米国の環境性能評価システムLEEDにおいて、札幌では初となるゴールド認証や、DBJ(日本政策投資銀行)のGreen Building認証制度において4つ星を取得しており、省エネや環境に配慮したオフィスビルとして評価を受けております。

さらに2019年度に竣工した小岩フコク生命ビルでは、壁面緑化や高効率設備を採用すること等により、当社では初となる、国が推進する建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)において、最高ランクおよびZEB Ready認証を取得しました。



小岩フコク生命ビル



大阪富国生命ビル



札幌フコク生命越山ビル

省エネルギー対策の推進

当社ではオフィス内の照明の間引きや消灯、空調設備の適切な温度設定や停止、OA機器の使用台数削減、エレベータ利用の低減などによる省エネの取り組みを推進しています。

また、保有ビルにおいて高効率空調設備、LED照明、節水型衛生器具、太陽光パネルと風力発電機を使用したハイブリッド屋外灯の導入などを継続的に進め、省エネ・CO₂排出量の削減に努めております。

これらの結果、2019年度のCO₂排出量は前年度比12.1%削減しました。

CO₂排出量 [t-CO₂]

2017年度	2018年度	2019年度
51,225	47,859	42,057

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同

当社は、2020年6月に金融安定理事会により設置された気候関連財務情報開示タスクフォースの提言(以下、TCFD提言)へ賛同しました。TCFD提言への賛同は、気候変動問題の重要性を認識したうえで、SDGs達成への貢献を目指す当社の姿勢を表明するものです。



よりよい社会づくりのため、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

● 芸術文化（アート）をとおして、つながっていくさまざまな活動

芸術文化（アート）には、「さまざまな人々をつなげていく力」があります。当社はこれまでクラシック音楽のコンサート活動を通じ、多くのお客さまや地域の方々、また障がいのある子どもたちと音楽をとおして、つながってまいりました。そして、こうした芸術文化（アート）による活動は、コンサートだけにとどまらず、さまざまな活動へと発展・成長し続けております。

「フコク生命訪問&チャリティコンサート」

「フコク生命訪問&チャリティコンサート」とは、プロの音楽家による本物のクラシック音楽を、特別支援学校や障がい者施設の方々へお届けする「訪問コンサート」と、ご来場の皆さまに地域の福祉にお役立ていただく募金へのご協力をお願いする「チャリティコンサート」を、同じ地域であわせて開催する活動です。

「2020フコク生命からの音楽の贈り物 ～応援コンサート～」

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、今までのようなコンサートの開催が難しくなりました。中でも、コンサートを通じた社会貢献活動を止めないために「音楽の贈り物」を映像をとおしてお届けすることとなりました。無観客のホールでコンサートを撮影し、フコク生命オフィシャルYouTubeアカウントにてコンサート動画を限定配信しております。（2021年12月24日迄）



応援コンサート出演者



応援コンサート
Part 1



応援コンサート
Part 2



応援コンサート
ダイジェスト版

● 「フコク生命パートナー・アーティスト」

「2020フコク生命からの音楽の贈り物～応援コンサート～」に出演したのは、当社の活動運営に賛同し、相互理解を深めた「フコク生命パートナー・アーティスト」を含む26名のアーティストです。

「フコク生命パートナー・アーティスト」は、単なる出演者ではなく、ともにさまざまなプログラム創りなども行い、活動を進めていく重要なパートナーです。日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーや国内外で活躍するトップレベルの音楽家で構成されています。



無観客のホールでコンサート収録

● 「フコク生命パートナー・コンサート・チューナー」

「フコク生命訪問&チャリティコンサート」の趣旨に賛同していただいているタカギクラヴィア株式会社に、「2020フコク生命からの音楽の贈り物～応援コンサート～」もサポートいただきました。

これまでどおり、世界三大名器のひとつである「スタインウェイ」社製のピアノを、ホールまで自社で運搬、搬入し、それぞれのピアニストの個性にあわせた調律をしていただいております。



ピアノの調律撮影風景
協力：タカギクラヴィア株式会社

すまいる・ぎやらりー ～特別支援学校生徒作品展～

2012年度より、障がいのある子どもたちのアート制作を応援する活動として、内幸町本社ビル地下2階の商店街壁面を利用して、全国の特別支援学校生徒の美術作品を展示する企画「すまいる・ぎやらりー」を開催しております。

この活動は、当社が2003年度から行ってきた特別支援学校へお伺いして開催する「訪問コンサート」をとおした交流の中から生まれました。



当社内幸町本社地下2階の商店街壁面に作品を展示

■2020年度「すまいる・ぎやらりー」出展校

(開催時期順・敬称略)

福島県立石川支援学校	福島県立猪苗代支援学校
千葉県立矢切特別支援学校	岩手県立気仙光陵支援学校
福島県立西郷支援学校	福島県立平支援学校
岩手県立釜石祥雲支援学校	筑波大学附属聴覚特別支援学校
宮城県立石巻支援学校	



当社作成のカレンダー

METライブビューイングへの協賛

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場 (MET) で上演されたオペラ公演をハイビジョン映像で映画化し、上映する「METライブビューイング (松竹株式会社配給)」に協賛しております。最上級のオペラ芸術に接する機会を提供する活動に協賛することで、芸術文化振興に貢献しております。

2020-21シーズンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場が全公演中止を発表したため、過去の数々の名演より、スター歌手による人気演目ばかりを集めた「METライブビューイングプレミアムコレクション2021」に協賛しております。



椿姫
© Marty Sohl / Metropolitan Opera

被災地への復興応援活動 (被災地特産品販売会)

東日本大震災で被災した福島県・宮城県・岩手県の東北3県の「被災地特産品販売会」を、新型コロナウイルス感染症拡大防止として社外販売は中止し、社内限定の予約販売のみ実施しました。(福島県は開催日が緊急事態宣言期間内にあたり開催中止)



障がい者施設運営のベーカリーショップの出張販売会

内幸町本社や千葉ニュータウン本社主催の「訪問&チャリティコンサート」での口ビー販売会をきっかけに、定期的に両本社内において障がい者施設運営によるベーカリーショップの出張販売会を行っております。当社職員も販売会のスタッフとして参加するなど、販売場所をご提供するだけでなく施設との協働運営を行っており、社内における障がいのある方への理解促進の一助と社会参加を支援しております。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予約販売としました。



販売団体

内幸町本社：社会福祉法人「緑の風」運営「さくらベーカリー」

※千葉ニュータウン本社：社会福祉法人印旛福祉会「いんば学舎・オソロク倶楽部」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

決算の概要

お客さま基本

商品・サービス

サステナビリティ

人づくり・場づくり

相互会社運営

経営管理体制

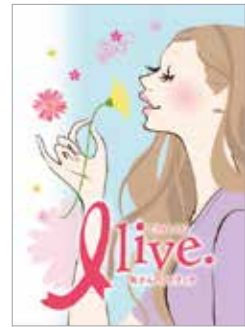
決算の概要
お客さま基
商品・サー
ビス
サステナビ
リティ
人づくり・場
づくり
相互会社運
営
経営管理体
制

ピンクリボン運動、Hellosmile (ハロースマイル) への協力

当社では、2008年度より乳がん検診の大切さを伝え、患者さんを支えていくピンクリボンフェスティバルへの協賛などを通じ、ピンクリボン活動を支援しております。

2011年度からは子宮頸がんの予防啓発を推進するプロジェクトの支援も行っております。

具体的な取組みとして、当社職員がピンクリボンバッジやHellosmileバッジをつけ「啓発パンフレット」などをお客さまに配布して、検診の大切さを伝えるなどの活動を行っております。



認知症サポーター認定取得の推進

2018年10月より認知症の方へ適切な対応ができるよう認知症サポーター認定の推進を開始しました。2021年5月1日時点で9,779名が認知症サポーター認定を取得し、認知症症状のある方やそのご家族に接する機会があった際、適切な手助けを行っております。

また2019年度から全国の支社・本社に自前で認知症サポーター養成講座を実施する「認知症キャラバン・メイト」を配置しました。



「特殊詐欺」被害防止に向けた啓発活動への協力

社会問題となっている「特殊詐欺」の被害防止に協力するため、お客さまアドバイザーと各都道府県警察が共同で使用可能な特殊詐欺被害防止啓発用のチラシ・ティッシュを作成しました。

2020年度は16都府県の警察にご協力いただき、警察署にチラシ・ティッシュを配備していただき、駅前などでお客さまアドバイザーと共同で配布するなどしてご活用いただいています。



各都道府県警と共同で作成しているティッシュ (画像は警視庁版)



各都道府県警と共同で作成しているチラシ (画像は警視庁版)



大阪富国生命ビルでの産学連携活動への支援

2010年に竣工の大阪富国生命ビルは、瓜生山学園京都芸術大学「大阪サテライトキャンパス」、立命館大学「大阪梅田キャンパス」など、大学関係施設や産学連携活動の支援施設などを誘致し、芸術文化、健康などに関する情報を地域社会に発信しております。

また、大阪大学の先生方が中心となり設立された植物研究を通じた緑豊かな生活環境の構築を目指す「智の木協会」へも参画しております。



社有不動産活用による待機児童解消に向けた取組み

待機児童問題などの社会的な課題解決へ貢献するため社有不動産に保育所等を積極的に誘致しており、現在では、東京都に3カ所、埼玉県、大阪府、和歌山県に各1カ所ずつ開設され、地域の皆さまにご利用いただいています。



SDGs達成に向けて貢献してまいります。

SDGsとは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された、世界の貧困をなくし持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標（Sustainable Development Goals）のことです。2030年までに解決を目指す国際目標であり、17の目標と169のターゲットで構成されています。

フコク生命の取組みとSDGs

	ゴール	取組み内容		ゴール	取組み内容
1	 貧困をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命保険業を通じた保障の提供 ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（開発途上国の貧困削減、開発支援）への投資 	10	 人や国の不平等をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢のお客さまや障がいをお持ちのお客さまへの取組み ● 障がい者雇用・女性活躍の推進 ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（障がい者支援）への投資
2	 飢餓をゼロに	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（フードロス・食品廃棄）への投資 	11	 住み続けられるまちづくりを	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ、省資源への取組み ● 被災地への復興応援活動 ● フコク・クリーン倶楽部（FCC）活動
3	 すべての人に健康と福祉を	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命保険業を通じた保障の提供 ● フコク赤ちゃん&キッズクラブの運営 ● ピンクリボン運動、ハロースマイルへの協力 ● 認知症サポーター認定取得の推進 ● 健康経営への取組み 	12	 つくる責任 つかう責任	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ、省資源への取組み ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（フードロス・食品廃棄）への投資
4	 質の高い教育をみんなに	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフプランセミナーの実施 ● 数学の特別授業の実施 ● 特別支援学校向けに訪問コンサートを開催 ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（子どもの教育支援）への投資 	13	 気候変動に具体的な対策を	<ul style="list-style-type: none"> ● 役職員による山林保護活動 ● 米州開発銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（適切な森林管理・アグロフォレストリー）への投資 ● クールビズの推進（「THE MUTUAL」ポロシャツの着用）
5	 ジェンダー平等を実現しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● フコク赤ちゃん&キッズクラブの運営 ● 女性の活躍推進 ● アジア開発銀行のジェンダー・ボンド（ジェンダーの平等化及び女性の活躍推進）への投資 	14	 海の豊かさを守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド（プラスチック廃棄物による海洋汚染問題）への投資 ● プラスチックの削減（「THE MUTUAL」エコバッグの配布）
6	 安全な水とトイレを世界中に	<ul style="list-style-type: none"> ● アフリカ開発銀行のインテグレート・アフリカ・ボンド、インダストリアルライズ・アフリカ・ボンド、インフラストラクチャー・ボンドへの投資 	15	 陸の豊かさを守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 役職員による山林保護活動
7	 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギープロジェクトへの融資 ● グリーンボンドへの投資 ● 環境配慮型の不動産開発 	16	 平和と公正をすべての人に	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンスの強化 ● コンプライアンスの推進 ● マネー・ローンダリング及びテロ資金供与、反社会的勢力への対応
8	 働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康経営への取組み ● 働き方改革の推進 ● 障がい者雇用の推進 ● 仕事と子育て・介護の両立支援 	17	 パートナーシップで目標を達成しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 国連責任投資原則（PRI）への署名 ● スチュワードシップ活動 ● 特殊詐欺の被害防止に関する警察との連携 ● 自治体との連携協定の推進 ● 「THE MUTUAL」をコンセプトとした100周年プロジェクトの取組み
9	 産業と技術革新の基礎を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ● ITを活用したサービスの提供 ● 産学連携活動への支援 ● アフリカ開発銀行のインテグレート・アフリカ・ボンド、インダストリアルライズ・アフリカ・ボンド、インフラストラクチャー・ボンドへの投資 			

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS